

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	持続的な産学共同人材育成システム構築事業				担当部局庁	高等教育局	作成責任者
事業開始年度	令和元年度	事業終了 (予定)年度	令和5年度	担当課室	専門教育課	専門教育課長 梅原 弘史	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-				関係する 計画、通知等	「経済財政運営と改革の基本方針2018」(平成30年6月15日閣議決定)、「未来投資戦略2018-「Society 5.0」「データ駆動型社会」への変革-」(平成30年6月25日閣議決定)、人づくり革命 基本構想(平成30年6月13日人生100年時代構想会議とりまとめ)	
政策	4 個性が輝く高等教育の振興				主要経費	教育振興助成費	
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_4-1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	実践的な教育を支える実務家教員を産学共同で育成・活用するシステムを構築し、実務家教員の質・量の充実を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	人生100年時代においては、誰もが生涯にわたって、意欲をもってスキルアップを続け、労働生産性を高めることは、我が国の発展のためには重要である。大学においては、「職業実践力育成プログラム」や「履修証明プログラム」を拡充するなど、社会人等が学び直せる環境の整備に努めており、企業からは、従事者を大学に送り出すに当たり、企業等の出身の講師などによる講義が期待されている。このような企業からの期待に対し、大学においては、社会人対象の教育プログラムを提供する場合、実践的な教育を行える教員の確保や採用した実務家教員の質の確保が課題となっており、その質の確保については、大学において、実務家教員を対象としたFDを実施している割合が5%弱となっているため、実務家教員の質・量の充実にに関して、個々の大学の対応を待つだけでなく、政策誘導的に実施することが重要である。						
事業概要 (5行程度以内)	大学等による以下の取組を支援する。【補助率:定額補助】 ○社会人の学び直しを含め、実践的な産学共同教育の実施に不可欠な実務家教員を育成するためのプログラムを開発・実施する。また、この実務家教員養成プログラムを標準化し、全国に展開する。(令和元年度～令和5年度)						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/miraikachisouzou/index.htm						
実施方法	補助						
補助率等	補助額は予算の範囲内で調整						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	280	250	202	108	-
		補正予算(B)	-		-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	280	250	202	108	-	
	執行額(G)		280	250	202		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		100%	100%	100%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		高等教育振興費		-		
		(目)	研究拠点形成費等補助金	107			
		(目)	研究拠点形成費等委員等旅費	1			
		(目)	研究拠点形成等謝金	0			
		(目)	研究拠点形成等旅費	0			
		(目)	研究拠点形成等業務庁費	0			
			その他	▲ 0			
計(A)		108	-				

活動内容① (アクティビティ)		開発した実務家教員養成プログラムの実施								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		実務家教員養成プログラムの修了者の 輩出	実務家教員養成プログラム修 了者数	活動実績	人	150	300	224	－	－
				当初見込み	人	145	275	262	274	－
↓	成果目標①～1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	開発した実務家教員養成プログラムを実際に実施し、受講生からフォローアップを踏まえた改良、改善がなされることにより、その質の向上に繋がる。								
成果目標及び成果実績 ①～1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		実務家教員養成プログラム修了者の実 務家教員としての活動の促進及び質の 確保	実務家教員養成プログラム受 講者の満足度	成果実績	%	－	－	94.8	－	
				目標値	%	－	－	－	85	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		大学等からの報告								
↓	成果目標①～2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	質の高い実務家教員養成プログラムを開発し、その受講を通じて、質の高い実務家教員を養成する。								
成果目標及び成果実績 ①～3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		実務家教員の質・量の確保	実務家教員養成プログラム修 了者で実務家教員として活動 している人数	成果実績	人	－	－	59	－	
				目標値	人	－	－	－	100	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		大学等からの報告								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		開発した実務家教員養成プログラムの実施									
↓											
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		実務家教員養成プログラムの修了者の輩出	実務家教員養成プログラム修了者数	活動実績	人	150	300	224	－	－	
				当初見込み	人	145	275	262	274	－	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	開発した実務家教員養成プログラムを実施し、修了者を輩出することにより、質の高い実務家教員候補者を確保する。									
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		実務家教員養成プログラム修了者の実務家教員としての活動の促進及び質の確保	実務家教員養成プログラム修了者で実務家教員として活動している人数	成果実績	人	－	－	59	－		
				目標値	人	－	－	－	100		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		大学等からの報告									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	(開発した実務家教員養成プログラムを修了した)実務家教員として活動する者を増やすことで、リカレント教育に必要な実践的な教育を支える実務家教員の質・量を確保する。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
		実務家教員の質・量の確保	実務家教員養成プログラム修了者で実務家教員として活動している人数	成果実績	人	－	－	59	－		
				目標値	人	－	－	－	100		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		大学等からの報告									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容③ (アクティビティ)		本事業や実務家教員の周知・普及									
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		実務家教員フェアといった本事業や実務家教員の周知・普及のためのイベント等の開催	本事業や実務家教員の周知・普及のためのイベント等の開催件数	活動実績	件	4	4	5	－	－	
				当初見込み	件	－	－	－	－	－	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本事業や実務家教員の周知・普及のためのイベントの開催を通じて、その必要性や理解等を促し、本事業の成果物の大学等での活用を促す。									
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		実務家教員養成プログラム等の他大学等への普及	開発された実務家教員養成プログラムやそのノウハウを活用する大学等	成果実績	機関	－	－	98	－		
				目標値	機関	－	－	－	100		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		大学等からの報告									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	本事業の成果物の周知・普及により、実務家教員の育成や理解を促進する。									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
		実務家教員の質・量の確保	実務家教員養成プログラム修了者で実務家教員として活動している人数	成果実績	人	－	－	59	－		
				目標値	人	－	－	－	100		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		大学等からの報告									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

※令和4年度実績を記入。なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
202百万円

高い専門性と俯瞰的知識を身に付けた、より実践的な人材を育成する取組を支援することを目的とする。
また、実践的な教育を支える実務家教員を産学共同で育成・活用するシステムを構築し、アカデミアと社会を自由に行き来できる学びと社会生活の好循環を醸成することを目指す。

↓

【補助金等交付】

A. 大学等
(5拠点4校)
299百万円
(補助金交付額:202百万円、
大学等自己負担額:98百万円)

実践的な産学共同教育の実施に不可欠な実務家教員を育成するためのプログラムを開発・実施する。また、この研修プログラムを標準化し、全国に展開する。

↓

【分配金】

B. 大学等
(13校)
7.6百万円/1校

拠点機関とともに実務家教員育成プログラムの開発・実施・展開を推進。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費、謝金	人件費、謝金	44	人件費、謝金	人件費、謝金	8
その他	外注費、印刷製本費、会議費、諸経費	39	その他	外注費、印刷製本費、会議費、諸経費	4
分配金	連携3大学への分配金	7	旅費	旅費	2
旅費	旅費	5	間接経費	光熱水費	1
間接経費	光熱水費	5			
物品費	設備備品費、消耗品費	1			
計		101	計		15

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

